

「高校生レストラン」 西条農業高校 生活デザイン科

1. 研究背景

- ・紺屋町商店街の活性化と日々の学習の成果を披露する場として紺屋町商店街に高校生レストランを開かないか。と紺屋町商店街振興組合から依頼があった。
- ・日頃から調理の学習やこだわり抜いた野菜を栽培しているが披露する場がなかった。

2. 研究計画

- 4月 高校生レストランに向け、レシピ考案・調理講習
- 5月 魚料理調理・献立考案・試作調理
- 6月 第1回営業
- 7月 献立考案・試作調理
- 8月 第2回営業
- 9月 献立考案・試作調理
- 10月 第3回営業
- 11月 料理コンテスト応募
- 12・1月 献立考案・試作調理
- 2月 第4回営業



西農御膳（10月）

3. 研究内容

- ・メニューの考案
- ・オリジナルキャラクターの制作
- ・生活デザイン科 野菜班との連携
（新野菜の提供）
- ・紺屋町商店街振興組合との協議



オリジナルキャラクター

4. 研究成果

- ・実店舗で2回営業ができた。（全て完売）
- ・日頃の授業の成果を遺憾なく発揮することができた。
- ・紺屋町商店街について知ってもらうことができた。
- ・後輩への引継ぎができた。



営業の様子

5. 今後の課題

- ・接客の改善
- ・さらなる調理技術の習得
- ・西農産野菜のさらなる活用

私たちの庭園づくり～伝統技術の継承と新たな技術の確立を求めて～

愛媛県立西条農業高等学校
環境工学科 環境科学コース

1. 研究の動機

西条市には、多くの造園業者が存在しますが、造園に関わる伝統的技術の担い手が不足していること、住宅様式の変化により、日本庭園や庭の需要が減少傾向にあることなど伝統的技術の継承に様々な課題があります。新たな技術を取り入れ、消費者のニーズや住宅様式の変化を調査して造園の業界に貢献できるように研究を始めました。

2. 計画

新しい技術を取り入れた庭園を作ることにし、2つの庭園を施工します。図面を書き、みんなの意見をまとめ、造園CADに起こして共通理解できるようにしました。

工程表を作成し、いくつかの工種を同時に進めました。重機や人員の配置を考え、作業の日程を浮き彫りにしたことで効率よく、計画的に施工に取り掛かれました。

3. 施工

(1) 和風庭園

もっとも大きな工種は、L型の土壁です。切り石による石積み、石積みの上に土壁を作ります。

(2) 洋風庭園

水栓では、碎石を敷き、レンガを積みます。正確過ぎない様にした方がよい等、勉強になりました。

門柱は版築という、土を突き固める技法で製作しました。材料の配合を変え、色の変化のある門柱が完成しました。

4. 評価

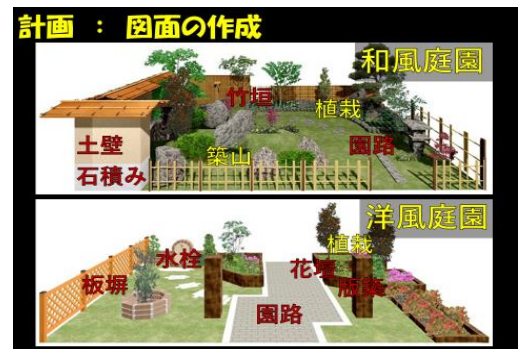
西条市産業祭やワークショップなどでアンケート調査、庭園のテーマや見どころをまとめたポスターを作成しました。ポスターにはQRコードを載せ、読み取ることによって、VR体験を行うことができます。アンケートの結果、和風庭園は土壁と石積みが、洋風庭園は門柱とシンボルツリーが人気となり、2つの庭園のシンボルがしっかりと評価された結果となりました。

5. 今後の課題

住宅メーカーに人気のある住宅庭園はどのようなものか尋ねました。お客様が求めている庭園は、端的にいうと、「手入れが行いやすいもの」との事でした。落葉樹、雑草が生えやすい裸地などは懸念されるため、日本庭園は減少傾向にあるようです。お客様が求めている庭園と作りたい庭園の差を埋めるためにいろいろな技術の発信が課題であることを実感しました。

6. 考察

- ・新たな技術に取り組み技能講習などを行い、伝統的な技術・新たな技術を学ぶことができた
- ・産業祭で一般の方々に見てもらい、庭園の良さを伝えることができた。
- ・一般の方々が求めている庭園像を描くことができた。



和風庭園



洋風庭園